

居空き・忍び込み

家人等が在宅し、昼寝、食事等をしている隙に住宅の屋内に侵入したり、夜寝静まった後や、ゴミを出しに行った隙などを狙い金品を窃取するもの

空き巣のケースと異なり、在宅中に侵入されるため犯人と遭遇してしまい居直った犯人が窃盗犯から強盗に最悪のケースでは殺人犯へと変貌する危険性をふくんでいます。(家人が在宅なのをしていて侵入してくる犯人は見つかった時の準備をており**居直り強盗**に変貌します)



井戸端会議の隙に無締りのドアから侵入されます。



夏場など戸締りをしていない窓から侵入されます。



テレビや食事のあいだのほかにほかの部屋を物色されます

居空き

居空き犯罪の多い時間帯

居空きの発生で一番多い時間帯は午後2時～3時頃です、この時間帯は 主婦の方がお昼寝したりワイドショーに夢中になっている時間帯です

なぜあえて家人の居るときに侵入するのか？

家人が居れば、防犯ブザーを切ってあったり、何処かしらカギが開いていたり、また、家人も「家に居るのにまさか…」という心の隙が生まれます。そこを狙って侵入してくるのが居空きです。

居空きに狙われやすい家は？

狙われやすいのは、一戸建てです。部屋数が多く、最近では3階建ても増え、「居空き」にとっては、見つかりにくいからです。特に家族状況や家の中の状況を把握しやすい環境の家は狙われます。

忍び込み

忍び込みの時間帯

忍び込みは家人が寝静まった深夜から明け方に集中して発生しています。



なぜあえて家人の居るときに侵入するのか？

この時間帯は侵入時の人目がない事と、留守の時に比べると防犯意識が低いことがあげられます。

対策

- ・座敷犬を飼う(座敷犬を飼っている家は居空き、忍び込みの被害には遭いにくい)
- ・ドアや窓に開閉センサータイプのブザーを取り付ける。
- ・侵入されやすい場所にリモコン式のセンサー警報機を配備し、離れる時はONにする。
- ・就寝時には必ず戸締りをする。

夏場、面格子も付いていない窓を網戸の状態です寝されている家が散見されますが、忍び込み犯には恰好の標的となってしまいます。出来る限り網戸での就寝はお控え下さい。どうしても網戸の状態です寝するのならせめて、センサーライトか警報器を取り付け且つ網戸を開けて簡単に入れない対策を実行してください。*** 網戸の内側にブラインドを取り付け下部を窓枠に固定しておけば風は入りますが人は簡単には入ることは出来ません。(破壊できますが音がします)**

